



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社ヘッドウォーターズ 上場取引所 東
 コード番号 4011 URL <https://www.headwaters.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 篠田 庸介
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 原島 一隆 (TEL) 03-6258-0525
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,786	67.4	84	247.7	85	331.7	53	353.1
2022年12月期第3四半期	1,067	—	24	—	19	—	11	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 54百万円(355.3%) 2022年12月期第3四半期 11百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	28.71	25.85
2022年12月期第3四半期	6.34	5.89

(注) 当社は、2023年7月1日付で1株を2株に株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,312	942	71.6
2022年12月期	1,169	875	74.9

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 939百万円 2022年12月期 875百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,320	47.4	120	9.4	125	17.0	86	15.3	46.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 当社は、2023年7月1日付で1株を2株に株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

- (注) 特定子会社の異動に該当しませんが、DATA IMPACT JOINT STOCK COMPANYを新規設立したことに伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年12月期3Q	1,877,298株	2022年12月期	1,872,400株
2023年12月期3Q	一株	2022年12月期	一株
2023年12月期3Q	1,873,819株	2022年12月期3Q	1,872,400株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

- (注) 当社は、2023年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の分類移行により行動制限が緩和され、個人消費やインバウンド需要の回復などから経済活動は緩やかな回復が続きましたが、ウクライナ情勢の長期化、円安基調、原材料やエネルギー価格の高止まりといった様々な下振れリスクが残り、景気の動向は依然として不透明で厳しい状況が続いております。

このような経済環境の中、当社グループが属するIT業界は、生成AIの登場に代表されるように新しい技術・サービスが常に生まれてくる業界となっています。業界を問わず各社にデジタル化の波が押し寄せる中、当社グループが得意とする人工知能(AI)やDX(デジタルトランスフォーメーション)の活用・推進は、第1四半期から変わらず活況を呈しております。反面懸念材料としては、生成AIの活用方法によって発生のある権利侵害や情報漏えい、ITエンジニアを含むデジタル人材の不足が懸念されております。

当第3四半期連結累計期間におきましては、特定の業界に特化することなく幅広い業界からAIソリューション事業への需要が拡大しており、当社グループの強みである一気通貫モデルの案件が複数並行で推進されております。

AIインテグレーションサービス

当社グループでは、第2四半期から生成AIに対するGPTサービスラインナップを徐々に拡充してきたことで、IoTを活用したエッジAI案件に加えて、顧客企業が保有している業務情報を活用した生成AI案件の受注が増加しております。建設業界、リテール業界に加えて製造業界や医療業界など幅広い業界から受注を獲得しており、AIインテグレーションサービス売上高は719,209千円(前年同期比148.4%増)となりました。顧客の要望に合わせたカスタマイズ開発を行うことでより業務にフィットしたAIソリューションを提供しております。顧客が社内利用するための生成AI導入に留まらず、顧客が外販していくためのサービスへ生成AIを利用するプロジェクトも始まっており、「生成AIプロジェクトラボ」では生成AIのハンズオン研修やアイデアハッカソンを行い顧客企業のデジタル人材育成や内製化支援も実施しております。

DX(デジタルトランスフォーメーション)サービス

スマートフォンアプリや顧客が提供するプラットフォームサービスの構築など、Microsoft Azureを中心としたクラウドサービスのシステム開発は、1案件あたりの売上規模が大きくなっていることもあり、3期連続で過去最高の売上高を記録しております。当第3四半期のDXサービス売上高は832,431千円(前年同期比44.4%増)となりました。旧来からの一般的なシステム開発に加えて、コンサルティング業務やプロジェクト支援業務による売上比率も徐々に増加しており、単価の押し上げと並行してパートナー推進チームの拡充や顧客企業の選択と集中を行いながら、売上総利益率の改善に努めております。

プロダクトサービス

当第3四半期は、生成AI活用プラットフォーム「SyncLect Generative AI」を提供開始したほか、Azure MarketplaceでチャットボットサービスやPower Platformワークショッププランの提供を始めております。Microsoft 365を利用しているエンタープライズ系の顧客を中心に、効率化・内製化の支援を行うことで新規顧客からの問い合わせやマイクロソフト社からの紹介案件も安定的に獲得できております。その結果、プロダクトサービス売上高は79,037千円(前年同期比3.4%増)となりました。

OPSサービス

AI、DXで実施される案件の運用保守を行いながら、随時採算性の悪い複数の案件を整理した影響により、当第3四半期連結累計期間のOPSサービス売上高は155,821千円(前年同期比24.7%増)となりました。当第3四半期においては、運用保守業務の引き継ぎに伴って一時的なコスト増となったほか、AIやDX案件に社員を集中させたことでパートナーへの依存度が高くなり生産原価を押し上げた結果、売上総利益率の改善が課題となっております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,786,500千円(前年同期比67.4%増)、営業利益は84,399千円(前年同期比247.7%増)、経常利益は85,581千円(前年同期比331.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は53,801千円(前年同期比353.1%増)となりました。

当社グループでは、AIを活用し更なる顧客サービスの実現を目指すAIソリューション事業の単一セグメントで推進しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、1,312,032千円となり、前連結会計年度末と比較して142,790千円の増加となりました。

流動資産は1,241,851千円となり、前連結会計年度末と比較して138,747千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が129,986千円減少したものの、売掛金及び契約資産が249,587千円、仕掛品が6,738千円、前払費用が7,933千円増加したことによるものであります。固定資産は前連結会計年度末と比較して4,042千円増加し、70,180千円となりました。主な要因は、無形固定資産が2,255千円減少したものの、有形固定資産が6,696千円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は369,517千円となり、前連結会計年度末と比較して75,718千円の増加となりました。これは主に、買掛金が24,766千円、未払費用が20,193千円、未払消費税等が15,242千円、契約負債が5,101千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は942,514千円となり、前連結会計年度末と比較し67,071千円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が53,801千円増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の業績予想につきましては、本日2023年11月14日に公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	818,610	688,624
売掛金及び契約資産	265,526	515,114
仕掛品	10,278	17,016
前払費用	8,617	16,551
その他	70	4,544
流動資産合計	1,103,103	1,241,851
固定資産		
有形固定資産	26,347	33,043
無形固定資産	16,881	14,625
投資その他の資産	22,909	22,511
固定資産合計	66,138	70,180
資産合計	1,169,242	1,312,032
負債の部		
流動負債		
買掛金	154,209	178,976
未払金	19,221	19,632
未払費用	48,866	69,060
未払消費税等	20,893	36,135
未払法人税等	25,304	25,167
契約負債	9,141	14,242
預り金	16,162	25,584
受注損失引当金	—	718
流動負債合計	293,799	369,517
負債合計	293,799	369,517

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	362,641	367,773
資本剰余金	352,641	357,773
利益剰余金	160,160	213,962
株主資本合計	875,442	939,509
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	—	278
その他の包括利益累計額合計	—	278
非支配株主持分	—	2,726
純資産合計	875,442	942,514
負債純資産合計	1,169,242	1,312,032

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,067,490	1,786,500
売上原価	636,554	1,136,725
売上総利益	430,936	649,775
販売費及び一般管理費	406,665	565,375
営業利益	24,270	84,399
営業外収益		
受取利息	7	8
為替差益	—	80
助成金収入	—	500
補助金収入	4,500	573
その他	0	20
営業外収益合計	4,507	1,181
営業外費用		
本社移転費用	8,907	—
為替差損	48	—
その他	—	0
営業外費用合計	8,955	0
経常利益	19,822	85,581
税金等調整前四半期純利益	19,822	85,581
法人税、住民税及び事業税	5,312	31,892
法人税等調整額	2,635	△2
法人税等合計	7,948	31,890
四半期純利益	11,873	53,691
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△110
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,873	53,801

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	11,873	53,691
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	—	370
その他の包括利益合計	—	370
四半期包括利益	11,873	54,061
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,873	54,079
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△17

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

特定子会社の異動に該当しませんが、DATA IMPACT JOINT STOCK COMPANYを新規設立したことに伴い、第2四半期連結会計期間より同社を連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

当社は、AIソリューション事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。